



「集大成」

校長 三浦 伸之

ローマ神話では1月から6月までそれぞれに月を守る神がいて、6月を守護しているのが女神ユノ(Juno)。6月の英語名「June」はこの「Juno」に由来するものらしいです。ちなみに「Juno」はローマ神話で最高神ジュピターの妻であり、結婚・家庭・女性・子育てをつかさどる神とされており、このことから、6月に結婚すると、「Juno」に守られて幸せになれるという伝承が生まれ、それが「ジュンブライド」という言葉の由来になっているとのこと。また、ローマの6月は平均気温が22℃くらいで、もちろん梅雨もなく、比較的乾季にあたるということで、過ごしやすい月だそうです。羨ましい！ああ、私もローマ人になりたい！！

みなさんは6月というとどんなことを連想しますか？私は「カタツムリ」を連想します。なぜか？それは幼稚園の時に園児全員に配られる小さな冊子。確か仏様に捧げる歌（お寺が経営している幼稚園だったので）などが載っていたと記憶しているのですが、その6月のページにかわいいカタツムリが、紫陽花の葉の上で笑っているイラストが描かれていて、それがとても印象に残っているからなのです。子供の頃にはよく、学校帰りの草むらにいるカタツムリに、「でんでんむしむしかたつむり〜♪」と歌いながら、ツンツン突いて殻に隠れるカタツムリの様子を楽しんでいたものです。（カタツムリは菌を持っていることも多く、直接手で触ることは危険とのこと。でも、当時はそんなことは誰も全く気にせず平気で触っていました）でも、最近はカタツムリをあまり見かけなくなりましたよね？これは、コンクリートやアスファルトが増え、街の風通しが良くなり、乾燥が進んだこと（カタツムリは体のほとんどが水分なので乾燥に弱い）や駆虫剤や除草剤の使用、落ち葉の片付けなどにより、餌や隠れる場所が減少しているせいだと言われています。苦手な方もいらっしゃるでしょうが、私はカタツムリのあののんびりした動きに何か癒されるんですよね。なので、見かけなくなった最近、少し寂しく感じています。（そう言いながらもエスカルゴは大好きです！）

さて、5月31日(土)～6月2日(月)まで、3年生とともに京都・奈良方面に修学旅行に行ってきました。当初雨の予報でしたが、3日間とも天気はよく、しかも、「涼しい」という最高の陽気でした。本校の3年生は修学旅行を3年間の「集大成」として臨みました。「集大成」とは、「ある事柄について多くのものを集めて、一つのまとまったものにすること。」です。今までの3年間、岸川中学校で学んだ様々なことを出し、その成果を一つにまとめて出すことができた、とてもすてきな修学旅行だったと思います。でも、全く課題がなかったわけではありません。（課題のない行事はなんてありません）その課題は、今日から始まる学校総合体育大会、秋にある体育祭、合唱コンクール、冬の受験。これらに向かって一つ一つクリアして、さらに大きく成長していきましょう。卒業を迎える日までは、まだまだあるように感じているかもしれませんが、でも、あっという間に時は過ぎていきます。だからこそ、これからの学校行事の一つ一つを常に「集大成」だと思って悔いの残らぬよう過ごしましょう。そして、中学校生活の本当の集大成を、「卒業式」で見せてください！！